

2020年以降の新たな枠組み策定プロセス

- 2020年以降の化学物質と廃棄物の適正管理に関する枠組み(ポストSAICM)の議論を会期間 (IP:Inter-sessional Process) に開始。
- 現行SAICMと同様の、自主的でマルチステークホルダーによる世界的な枠組みを想定。

2017

第1回会期間会合 (2月@ブラジル・ブラジリア)
・次期枠組みに向けた論点整理

2018

第2回会期間会合 (3月@スウェーデン・ストックホルム)

2019

第3回公開作業部会 (OEWG3) (4月@ウルグアイ・モンテビデオ)
第3回会期間会合 (10月@タイ・バンコク)

2020~
2021

有志によるバーチャル作業グループ (2020年10月~21年2月)

2022~
2023

第4回会期間会合 IP4.1 : 2022年8~9月@ルーマニア
IP4.2 : 2023年2~3月@ケニア
IP4.3 : 2023年9月@ドイツ
第5回国際化学物質管理会議 (ICCM5 : 2023年9月@ボン、ドイツ)
・SAICMの総括、次期枠組みの採択
※コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初の予定(2020年)から大幅に遅延

国内の取組

SAICM国内実施計画の実施状況の点検・評価

結果の取りまとめ・会期間プロセスにインプット

化学物質と環境に関する政策対話